

第5回 氷見市総合計画審議会 会議録		
日 時	令和4年1月24日(月) 13時15分から14時30分まで	
場 所	氷見市ふれあいスポーツセンター 会議室	
出席者	委 員	伊藤宣良、大嶋充、尾畑納子、角谷禎成、河上昌俊、河原朱里、川田文人、草島すなお、佐伯三美子、三ノ宮一貴、高木陽子、高嶋達(代理:七分)、釣谷聡、寺下利宏(代理:京田)、中村和之、中村剛、西川扇博、西森正憲、野畑圭造、林美樹、松波久善、吉崎一美(出席22名)(欠席8名:金嶋修、菊川昌彦、越坂裕子、辻井満雄、西山知克、松井みづほ、松原勝久、森本太郎)
	市関係職員等	林市長 策定委員会委員(篠田副市長、鎌仲教育長、藤澤政策統括監、東軒企画政策部長、森田総務部長、新井市民部長、森川産業振興部長、釣賀建設部長、石田防災・危機管理監、高田会計管理者、泉澤教育次長) 事務局(高野地方創生推進課長、尾山同課長補佐、塩津同課主査、大石同課主任、檜垣同課主事、屋敷同課主事)
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議事 (1) 部会報告について (2) 第9次氷見市総合計画基本計画(案)について 5 閉 会	
資 料	【説明資料】 資料1 氷見市総合計画審議会第1部会の意見等について 資料2 氷見市総合計画審議会第2部会の意見等について 資料3 氷見市総合計画審議会第3部会の意見等について 資料4 第9次氷見市総合計画基本計画(案)修正新旧対照表 資料5 第9次氷見市総合計画基本計画(案) 【参考資料】 参考資料1 第3回第1部会会議録 参考資料2 第3回第2部会会議録 参考資料3 第3回第3部会会議録 参考資料4 氷見市総合計画審議会委員名簿 参考資料5 氷見市総合計画審議会部会名簿	

参考資料 6	氷見市総合計画審議会条例
参考資料 7	氷見市総合計画審議会部会設置要綱
参考資料 8	氷見市総合計画策定委員会委員名簿
参考資料	第 9 次氷見市総合計画体系図

1 開 会

(司会)

本日は、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。
ただいまから、第 5 回氷見市総合計画審議会を開催する。

2 会長あいさつ

(司会)

初めに、会長からご挨拶申し上げます。

(会長)

ご多用の中、第 5 回氷見市総合計画審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

前回、令和 3 年 9 月 2 9 日に開催した第 4 回総合計画審議会では、令和 4 年度から令和 8 年度までの総合計画前期基本計画（案）について、ご審議いただいた。また、1 0 月 2 0 日から 2 2 日には各部会に分かれ、さらに具体的な話し合いをしていただいた。

その後、1 1 月 1 5 日に部会長の皆様から各部会でのご意見等をお伺いし、基本計画案の取りまとめを行ったところである。

本日は、各部会からの報告を含め、引き続き、第 9 次氷見市総合計画基本計画（案）について審議いただきたい。

なお、本日の審議会が前期基本計画の最終的な審議の場であり、本日皆様からいただいたご意見を反映し、2 月 2 日に市長へ基本計画を答申する予定である。委員の皆様には忌憚のないご意見を賜るよう、よろしくお願い申し上げます。

3 市長あいさつ

(司会)

次に、市長からご挨拶申し上げます。

(市長)

本日は、会長をはじめ委員の皆様にはご多用の中、氷見市総合計画審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

また、日頃から市政の発展に格段のご理解、ご協力を賜っていること改めて感謝申し上げます。

先週から新型コロナウイルス感染症、オミクロン株が全国的に蔓延している状況である。富山県においても、明日25日からステージ2にレベルが引き上げられる。皆様におかれては、今後とも感染予防対策にご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年には市政施行70周年という記念の年である。また、ご審議いただいている第9次氷見市総合計画がスタートする年でもあり、秋には氷見市芸術文化館がオープンする予定があり、氷見市にとって節目の年でもある。

この第9次氷見市総合計画の基本目標である、住みたいまち、働きたいまち、育てたいまちなどの施策を含め、未来技術の活用やSDGsの推進など、市民の皆様とともに今後もまちづくりに取り組んで参る所存である。

さて、昨年9月に開催した第4回氷見市総合計画審議会において、第9次氷見市総合計画前期基本計画に関する改定案および基本計画の素案について審議いただいた。その後、各部会での審議を行っていただき、それと並行して、11月19日と20日に氷見市まちづくりふれあいトークを開催、また11月24日には子育て関係の、11月25日には農林水産関係の、11月26日には商工業関係の皆様に分野別懇談会を開催し、いろいろなご意見を賜った。その中で、12月15日から1月14日の1か月にわたり、パブリックコメントを募集し、第9次氷見市総合計画基本計画（案）についてご意見を伺ってきた。

これまで様々な方からご意見をいただいたことを含め、第4回審議会以降、これらのご意見を反映した基本計画案について、本日はご審議いただきたいと思う。委員の皆様方には、忌憚のないご意見を賜ることをお願い申し上げます。

(事務局)

ここで、会議資料の確認をさせていただきたいと思う。

本日の会議資料は事前送付した右上の資料番号1から5まで、参考資料として1から8までと本日お手元に配布した、右上に参考資料とある第9次氷見市総合計画体系図と座席表となる。

なお、誠に申し訳ないが、資料1から3は事前にお配りしたもののから修正したものをお手元に配付させていただいた。資料の配布もれはなかったか。

(事務局)

初めに、委員の交代について、報告する。

今回、氷見青年会議所理事長の交代により、新たに三ノ宮様にご出席いただいている。

本来であれば、市長から委嘱書をお渡しすべきところではあるが、時間も限られているので、お手元に配布させていただいている委嘱書をもって委嘱に代えさせていただくこと、ご了解願う。

また、本日の審議会への出席につきまして、高嶋委員の代理で七分様、寺下委員の代

理で京田様に出席いただいている。

なお、金嶋委員、菊川委員、越坂委員、辻井委員、西山委員、松井委員、松原委員、森本委員は所用により欠席である。

ご出席いただいた皆様方については、お手元の座席表、審議会委員名簿をもって紹介に代えさせていただくこと、ご了解願う。

それでは、ここから先は、氷見市総合計画審議会条例第5条第1項の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。

4 議事

(会長)

はじめに、本審議会の委員は30名であり、本日の出席委員は22名であり、氷見市総合計画審議会条例第5条第2項に規定する会議開催の定足数16名を満たしておりますことを報告する。

(1) 部会報告について

(会長)

それでは、次第に添って進めさせていただく。

まず、議題1「部会報告について」、事務局から説明をお願いする。

(事務局)

「資料1 氷見市総合計画審議会第1部会の意見等について」、

「資料2 氷見市総合計画審議会第2部会の意見等について」、

「資料3 氷見市総合計画審議会第3部会の意見等について」、を説明)

(会長)

事務局より資料1から3についてご説明をいただいた。各部会での活発なご意見ありがとうございました。

それでは、部会長の皆様、ただ今の事務局からの説明に補足等がありましたら、お願いする。

まず、第1部会部会長、いかがか。

(第1部会長)

今、事務局からご説明があったとおりである。「住みたいまち」ということで、誰もが安心してこの氷見のまちに住めるという一番近い住民の声を受けて、5つの項目が挙げられたと思う。自然豊かで高齢者もいずれの世帯の方々も、安心して住める町を作っていきたいという声が挙げられたと思うので、良かった。今の事務局からのまとめにつ

いては以上である。

(会長)

全世代の声ということであったが、環境や福祉、子育て世代に対する将来性も大事だというご意見であった。

次に、第2部会部会長、いかがか。

(第2部会長)

ふるさと氷見をしっかりと理解すること、子育て、育てたいまちもそうであるが、スポーツにおいても末永く生涯にわたりできるようになること。

また、まちづくりふれあいトーク、これは市民の声を聞くという意味では非常に良いことだと思う。

今の高校生が、将来氷見で働きたい、暮らしたいと思えるように、大切な氷見市の担い手である子どもたちの人材育成に、市民一人一人が力を入れなければならない。

(会長)

ふるさと教育や生涯スポーツ等、まさに市民の生活の根幹となる大切なことだと思う。では、第3部会部会長、いかがか。

(第3部会長)

第3部会で議論がいろいろあったが、基本計画の要望については事務局でまとめていただいたとおりである。

農林業が中心になっており、主に産業を中心に意見していただいた。産業は氷見市の活力の基礎であり、働きと安心を今後市民にどのように提供していくかということを活発に議論できたと思う。

(会長)

農業林業を含めた産業の活用ということでご意見をいただいた。

各部会でのご意見について、各部会長からご説明いただいた。委員の皆様には、各部会でのご意見について、ご質問等があればお願いします。

(委員)

大切なのは人口である。氷見市の人口をいかに減らさないようにするか、上手くいけば増えないか。

愛媛県西条市のだんじり祭りを例に挙げる。この祭りではだんじりが77台も出る。市をあげて地区の皆が総出で行っている。これこそが地域活性化につながっている良い

例だと思う。氷見にもこれくらいの盛り上がりがあれば、全国的に知られるように進めていくことが、人口減少を食い止めると思う。

また、氷見の若い人たちが結婚して家を建てたいとなった場合、建てたいと思う地域に農業振興区域という網がかかっている。これが不動産屋の嘆きで、こういった理由から若い人口が射水市に多く流れている現状があると思う。昭和51年以来、用途区域の見直しがされていないため、都市計画審議会で議論いただく必要があると思う。

(会長)

人口については、非常に重要だということは皆様方の共通認識だと思う。

人口減少をできるだけ緩和していくことは1つの大きな柱でもある。例えば、人口が減少してもしっかりしたサービスが提供され、地域の活性化が保たれることが大事だと思う。

(2) 第9次氷見市総合計画基本計画(案)について

(会長)

まず、議題2「第9次氷見市総合計画基本計画(案)について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

委員の皆様には、前回の審議会以降、12月にも基本計画案をお送りさせていただき、ご意見等をいただいた。

先週改めて基本計画(案)をお送りした。その修正箇所についてご説明する。

(「資料4 氷見市総合計画基本計画(案)修正新旧対照表」、

「資料5 氷見市総合計画基本計画(案)」を説明)

(会長)

只今、氷見市総合計画基本計画案について新旧対照表の修正箇所などを中心として事務局からご説明いただいた。できれば全ての委員の方にご意見、ご質問等をいただければと思う。

総合計画基本計画の今後の方向性も踏まえてのご意見、ご感想でも構わない。

(委員)

事務局に質問である。パブリックコメントの資料が出ていないが、どんなコメントがあったのか、参考になると思うので教えて欲しい。

(事務局)

12月中旬から約1か月間、パブリックコメントを募集したが、皆様からのご意見は特になかったので、資料として出していない。説明が足りず、大変失礼した。

(委員)

エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用促進というところであるが、生活の中で出てきたものをどう活用していくか。生活の中でどう削減していくかということが、大変求められている。環境審議会でも、今年氷見市のゼロカーボンを推進しているという戦略を設けたところである。そういう意味でも、今回新たに基本計画に加えていただけたことは良かったと思う。それと同時に、SDGsの達成やゼロカーボン社会を目指すなど、市民自身も目指す、みんなが1つになって取り組んでいくという思いがあったので、34ページに加えていただいた。

環境審議会では、今までの自然を守っていくというものに加え、これからはアクティブに温暖化ガスを削減する方向の施策に取り組んでいただきたいと思う。

市政施行70周年を迎える氷見市としては、これらを新しい計画に加えていただけたことは非常に良かったと思う。そして、今後どのようにして行動に結び付けていくかがこれからの課題だと思う。

(会長)

34ページにある循環型社会の形成ということであるが、環境問題は暮らしのみならず、産業や将来の市民生活にも大きな影響を与えるもので、大変大事なことだと思う。

また、大きな話になりがちだが、しっかりと取り組んでいかなければならない問題である。

(委員)

1つだけ言いたいことがある。この計画の中に、「幸福度を高める、安心度を高めるためのデジタル化社会の整備」という言葉がどこかに1文でも入っていたら良いと思う。

例えば、32ページの「快適で住みやすい都市環境の整備」のところで、公共交通網の整備等が主に書かれているが、そこに1行でもこの文が書かれていれば、これからのデジタル化社会の中で、氷見の幸福度を高めるための位置づけになってくると思う。

また現在、屋外無線での防災案内があるが、二重サッシになっていたりして聞こえづらいので、ケーブルテレビ等での案内の整備も必要なのではないかと。

これから一気に進んでくるデジタル化社会の中での幸福度の整備が重要になると思う。

(会長)

デジタル化等について、基本計画の中で触れている部分は、事務局としてはどうか。

(事務局)

防災行政無線の話があったが、生活様式の変化に対する対応ということでご意見いただいた。

そういったことを踏まえて氷見市では現在SNSを活用した情報伝達システムに取り組んでいる。

総合計画の中でも、LINEやSNSでの情報提供について1世帯に1人以上、見ていただけるような取り組みをしていこうと、KPI数値目標を掲げている。

また、企業でも人口減少や担い手不足に対するデジタル化の取組の中で、氷見市でもなんとかご支援できないかということで、63ページに「AIやIoT等の未来技術を有効活用し、生産性向上と新たな付加価値の創出を促進し、DX推進による企業の変革を支援します」と書かせていただいた。

さらに、農業のスマート化についても記載している。これらを実現できるよう努力して参る。

(会長)

未来技術の有効活用としては、20ページ「オンライン診療」等も、今おっしゃられたことにダイレクトにつながると思う。

それから、115ページ「行政のデジタル化の推進」とあるように、行政自身が率先してやっていただきたい。

また、その方向性も大事になると思うが、デジタル化は非常に進歩が速く、変化が早い大きな分野のため、1つ1つのことに対してデジタル化推進ということを書いていただいて、後の総合戦略でしっかりと示していただくのが良いと思う。

(委員)

商店街でデジタル化を促進したいという店が出てきたとき、役所での対応窓口がどこなのか。促進するような課があるのか。また、デジタル商店街(eコマース等)を作りたいと思った場合、講師の派遣や専門家を紹介してくれる相談窓口が役所があればいいと思う。

現在いろいろな部署があると思うが、明確に分かれれば相談しやすいと思う。

(会長)

デジタル化を推進し、産業を支えていくということが基本計画の中にあるが、実施するにあたってのサポートも大切だと思う。

基本計画に沿って必要なサポートをしっかりとできるような体制作りが重要である。

氷見市だけではなく、商工会議所や関係の経済団体等とも連携して、金融機関も含めた形で様々な支援をしていくことが、デジタル化においても大事なことだと思う。

もし、ご意見がないければ、採決でのご承認をいただければと思う。

それでは、採決に移る。ただいま説明がありました第9次氷見市総合計画基本計画(案)をもって、答申することに賛成の方は拍手をお願いします。

【全員が拍手】

全会一致により承認された。

今後は、本日ご了解いただいた基本計画案で、今月中に答申文を作成し、2月2日に林市長に答申することになる。なお、今後の手続きについては、会長一任で進めさせていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

以上で本日予定していた議事は終了した。委員の皆様には議事の進行にご協力いただき、感謝申し上げます。

また、第9次氷見市総合計画策定に関する審議は今回で終了となる。皆さまには、令和2年9月25日の第1回審議会から本日を含めてこれまで5回の全体会や3回の部会において、ご多用の中、熱心にご審議いただき、深く感謝申し上げます。

これからも、第9次氷見市総合計画の推進にさらにご協力をいただくとともに、氷見市の発展のためにお力添えを賜りたいと存じる。

それでは、この後の進行は事務局にお任せするので、よろしくお願いします。

(事務局)

中村会長ありがとうございました。

それでは閉会にあたり、市長より皆様にご挨拶申し上げます。

(市長)

本日は第5回氷見市総合計画審議会、最終回ということで、委員の皆様方には熱心に議論いただいた。これまでも5回の審議会、また各部会でのご審議、誠にありがとうございました。

氷見市政施行70周年から80周年の10年間を見越した基本計画をしっかりと実行に移していく。その中でも、本日ご意見いただいたゼロカーボンシティやデジタル化等については大きな課題がある。先般、県の「ワンチームとやま連携推進本部会議」において、県と各市町村が一体となって進めていくような取組みを行っている。

氷見市でも2050年、カーボンニュートラルに向けたロードマップを作成している。また、デジタル化についても、推進計画を作成している。委員から、デジタル化推進の窓口を作ってはどうかとあったが、先般、商工会議所からも同様のご意見があった。それらを受けて、来年度の組織変更も考えている。

それから、委員からあった、人口減少の問題については、氷見市総合計画の一番大切な所である。「住みたいまち」、「働きたいまち」、「育てたいまち」これらの施策は、いずれも人口減少を食い止めるためのものであり、例え人口が減少したとしても、幸せな生活を送れる氷見市にする為の基本計画である。総合計画をしっかりと実行していく中で、実現して参りたい。

また、用途地域の見直しという意見があった。私も県の都市計画課にいた頃から、各市町村の用途区域、振興区域について農政局とも議論してきた。特に氷見市の場合は、非常に広い地域を用途地域としており、その中には住宅を建てられる土地がたくさんある中で、これ以上用途地域を広げるということはなかなか難しく、非常に大きな課題であると考えている。現在の用途地域を生かしながら、なるべく住宅を誘導していくという施策が求められていると思う。

いずれにいたしましても、委員の皆様方におかれましてはこれまでの審議会で多くのご意見を賜りましたこと、感謝申し上げますとともに、この氷見市総合計画がしっかりと実を結ぶように行政として努力していくことをお誓いする。

委員の皆様、ありがとうございました。

(事務局)

以上を持ちまして、第5回氷見市総合計画審議会を閉会する。

本日は誠にありがとうございました。